

1.札幌市エゾシカ被害防止対策実施プランについて

北海道ではエゾシカの生息数の増加及び生息域の拡大に伴い、農林業や生活環境被害、生物多様性に及ぼす影響等が深刻化しています。

札幌市内のエゾシカによる各種被害の防止を図るため、札幌市エゾシカ被害防止対策実施プランを策定することとしました。

2.エゾシカによる被害の現状

●生活環境被害

- 札幌市内や近隣自治体における交通事故件数は年々増加傾向にあります。
- エゾシカの繁殖期かつ越冬場所への移動が重なる秋(特に10月頃)には、市街地への出沒も多くなります。
- その他、市街地出沒や家庭菜園や庭木の被害があります。



●農業被害



- 札幌市のエゾシカによる農業被害額は、令和2年度以降1,500万円を超えています。
- 特に冬期間の果樹への被害が多く、果樹園地において芽の食害や樹皮剥ぎなどの被害が確認されています。

●森林被害

- 樹皮剥ぎや幹折り、稚樹の食害により、樹木の育成や森林の更新が困難な状況となっています。
- 札幌市内の国有林のうち、人工林の本数被害率はあまり高くないという結果になっていますが、天然林への影響は生じていることが推測されています。



●その他被害



- エゾシカの個体数が大幅に増加すると、採食による下層植生の消失や樹皮剥ぎによる樹木の衰退など、生態系にも影響を及ぼします。
- 植物の食害により、裸地化が起こって土砂災害の危険性が高くなる恐れがあります。

3.目標

目標1 被害を軽減するための防除対策を推進します

- 市街地に出沒した際の対応を継続して実施します
- 農地における侵入防止柵の普及促進を図ります
- 森林における防除対策を実施します

指標	初期値 (R6年度)	目標値	
		(R7年度)	(R8年度)
電気柵設置により農作物被害を防いだ農地面積(累計)	136ha	149ha	159ha
森林の被害防止対策実施面積(累計)	2.0ha	4.0ha	6.0ha

目標2 被害が大きい地域や生息密度が高い地域周辺の捕獲体制を強化します

- 市街地周辺(林縁部)での捕獲を実施します
- 農地周辺での捕獲を実施します
- メスの捕獲を優先して実施します

指標	初期値 (R6年度)	目標値	
		(R7年度)	(R8年度)
札幌市の事業による捕獲頭数	279頭	480頭	480頭
札幌市の捕獲事業におけるメスの割合	65.6%	65%以上	65%以上

目標3 対策を効果的に進めるために生息状況等の調査を実施します

- 生息状況を把握するための調査を継続して実施します
- 農業被害状況調査を継続して実施します
- 森林被害状況調査を実施します

指標	初期値 (R6年度)	目標値	
		(R7年度)	(R8年度)
生息状況調査の実施地域数	6か所	6か所	6か所
農業被害状況調査の実施	全戸で実施	全戸で実施	全戸で実施
森林被害状況調査の実施地点数	—	場所等の検討	10地点

目標4 被害の実態や被害防止対策について市民の理解促進を図ります

- 普及啓発を実施します

指標	初期値 (R6年度)	目標値	
		(R7年度)	(R8年度)
啓発用資材(リーフレット、パネル等)の作成	—	内容等の検討	作成・啓発実施

＜成果指標＞ ※「交通事故件数」は年単位、「農業被害額」「森林被害防止」は年度単位

- ◆交通事故件数 : 206件(R6年) ⇒ 206件以下(R8年)
- ◆農業被害額 : 27,851千円(R6年度) ⇒ 25,066千円以下(R8年度)
- ◆森林被害防止 : 二(R6年度) ⇒ 森林被害の現状把握(R8年度)